



平成29年度 熊本市PTA協議会定期総会

復興に向けた新たなステージへ 平成29年度熊本市PTA協議会総会開催される

平成29年5月27日(土) 熊本市立図書館ホール



熊本市PTA協議会
 会長 家入 淳
 編集責任者 西本 彰文
 熊本市北区清水本町16-10
 熊本市健康センター清水分室新館2F
 TEL(288)3750 FAX(288)3754
 http://www.kumamotocity-pta.net
 info@kumamotocity-pta.net
 印刷：(株)キャップ
 TEL(362)3333

熊本市PTA協議会(以下、市P)は発足68年目を迎え、子どもたちの健全育成とよりよい教育環境づくり、そしてPTA会員自身の資質向上や互いの親睦を図る事業など、様々な活動を他と連携を図りながら取り組んでおります。

この5年間で3つの小学校が新設されるなど児童数増の地域もある一方で、昨年度は3小学校の閉校があり、全体の会員数は微減傾向にありながらも活発な活動が進められています。このたび、平成29年度定期総会が開催されました。本総会では、多数のご来賓と単位PTA理事、市P役員等出席

席のもと、年間事業計画・予算案・大会宣言など全ての議案が承認され、政令市PTA6年目のさらなる充実と発展に向けてスタートしました。

ご来賓を代表して、熊本市教育委員会教育次長の深水様より挨拶をいただきました。深水様は、熊本地震からの復旧・復興を加速し、これからも子どもたちの心のケアに全力で取り組んでいく旨を話されました。また、今年度新たに選出された新任役員を代表して家入淳市P会長(楠中学)は、「これから大きな一歩を踏み出すとき、総力を挙げてさまざまな課題に挑戦してまいります。」と力強く



抱負を述べられました。最後に、「熊本が復興していく中では、家庭・学校・地域の相互理解と連携がこれまで以上に

宣言

熊本が復興する中で、子どもたちの教育における家庭・学校・地域の相互理解と連携はこれまで以上に重要になっている。

私たちが積極的にPTA活動に参加することでその責任を自覚し、安心して安全な環境のもと、子どもたちが道徳心とこころざしを持ち思いやりにあふれた人間に成長するよう願う。

これらのことをふまえ、熊本市PTA協議会の名のもとに、PTA活動を下記のとおり推進することを宣言する。

記

- 一、震災後、子どもたちの心のケアを図るとともに地域との連携をさらに深め、ふるさとの復興に努める。
- 一、命の大切さを理解し、人のいたみがわかり、互いを大切に支え合う心を持った子どもの育成に努める。
- 一、自分の夢をしっかりと持ち、自ら学び、自ら行動できる子どもの育成に努める。
- 一、私たちも地域社会の一員としての自覚を持ち、共に学び共に育つために、地域活動及びPTA活動を実践し、安心して安全な環境づくりに努める。
- 一、かけがえのない地球、そしてふるさとを未来の子どもたちに引き継ぐため、環境の保護と文化の発展に努める。

平成29年5月27日
熊本市PTA協議会 総会

平成29年度 熊本市PTA協議会役員(敬称略)



役職名	所属	名前	区	学校名	
役員(二役)	会長	家入 淳	北	楠 中	
	副会長	総務	磯田 圭輔	中央	出水南中
		厚生	松本 知樹	東	東野中
		教養	建山 洋孝	西	高橋小
		健安	松島雄一郎	南	田迎西小
		広報	夏木 良博	北	武蔵小
		市P担当 部会長	健安 浦田久美子	南	城南中
会計 理事	厚生	三枝 敬明	東	西原中	
	健安	中村 修	南	日吉小	
常任理事	専門委員会委員長	総務	佐藤 準一	中央	本庄小
		厚生	鹿子木 信	東	画図小
		教養	今村 吉宏	西	春日小
		健安	近藤 博信	南	下益城南中
		広報	西本 彰文	北	龍田西小
	常任理事	総務	上野 哲矢	中央	竜南中
		教養	田尻 広	西	芳野中
		広報	安楽理恵子	北	麻生田小
		総務	井手 宏美	中央	藤園中
		厚生	桂 ありさ	東	桜木東小
監事	教養	久保 謙介	西	池田小	
	広報	小川内水穂	北	五霊中	
参与	課長	堀田 雪心	中央	藤園中	
		山下日出男	西	池上小	
	事務局	課長	上村 鋭二		
		課長	塩津 昭弘		
		校長	平生 典子	東	桜木東小
事務局	校長	多賀 美文	北	植木北中	
	主幹	土井 義周			
事務局	参事	藤田 健			
	事務局	森川 和憲		山田 清佳	

会長就任挨拶「道」 熊本市PTA協議会 会長 家入 淳



「もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」という言葉です。今では、あたり前になっていくことも、その道を信じて、歩き出した人がいたことで、現実になったのです。どんなに未知数のことも、始めてみれば、誰かが共感し、力を貸してくれるかもしれません。勇気をもって踏み出すことで、道を開き、未来を創ることができるとい意味だと思えます。

熊本市PTA協議会も、今年度、政令市PTAとして6年目を迎えました。昨年度は日本PTA全国協議会への単独加盟を果たすことができ、これから大きな一歩を踏み出す時がやってきました。先ほど、私が、「熊本市PTA協議会の総力を挙げて、さまざまな課題に挑戦していきます」と申しましたが、挑戦していく課題は、当然ながら、簡単なものばかりではありません。私自身も悩み、躊躇することもあるかもしれません。しかし、ここに立ち止まるのではなく、ここにいる多くの仲間と共に、一歩ずつ、確実に歩みを進めていきたいと思えます。

また、今年度は、熊本県PTA連合会との共催事業での研究大会「熊本はひとつ 震災復興ひのくに大会」を11月23日に開催いたします。熊本が一つになり、このような大きな学びの場を提供できることに、また、そこに携われるということに、私自身も大きな喜びを感じています。きっと多くの方々に、お力添えをいただくことになると思えますが、その方々に、どのような道が開けるのか、どのような振り返った時に、どれほど大きな喜びや、感動の道が広がっているのかも楽しみの一つです。第一線で頑張られている会員の皆様だからこそ、共感できる、理解できる、苦労や喜びなどもあると思えます。熊本市PTA協議会も会員の皆様と共に手を取り、新しい道を切り開いていくよう頑張ってください。協力のほどよろしくお願い致します。